

# 長野県木曾青峰高等学校 令和3年度第2回学校評議員会 記録

日時 令和4年2月24日(木) 午後3時00分から午後3時50分

場所 オンライン開催

出席者 学校評議員 同窓副会長・PTA会長  
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・進路指導主事・  
生徒指導主事・1学年主任(代理)・2学年主任・3学年主任  
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

## 1 開会

## 2 学校長挨拶

## 3 学校からの報告

## 4 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) 資格取得と就職の関連を知りたいと思いました。(欠席の方)

■求人に関して特に特定の資格は求められていないが、入学前から目標持ち意欲をもって資格取得に取り組んでおり、生徒によっては関連産業に就職することもある。(森林環境科)

■インテリアコーディネータは1名が最後まで受験した。資格取得そのものは年間9本の資格取得の実施ができた。(インテリア科)

(評議員) 外部から見ると、細かな点まで取り組んでいただいて頭が下がる。就職に関して郡内の指導もしていただいてありがたい。木曾町管内では300軒前後が空き家となり、来年度から実情を調査する事業が始まる。人口減によって生徒数が減少すれば学校の在り方についても議論されるようになるかもしれない。外部からの定住者の受け入れ、郡外へ出た子どもたちが木曾に戻れるようにすることが必要だが、学校でも類似する取り組みをしていただいており感謝したい。

(評議員) 保護者と学校の接点が少ないと感じる。中学校までに比較すると子どもの様子を見る機会がない。保護者が学校へ行く機会を増やせないかと考えている。校舎の老朽化もすすんでおり危険箇所も含め保護者が見る機会があってもいいかなと考えている。

進路に関して、木曾は職業モデルが少ないのでいろいろな職業を見る機会がない。中学校までに将来の夢を描けなくなってきている。できるだけ早く夢を見つけられるような高校生活を送ってほしいと考えている。

(学校長) 貴重なご意見ありがとうございます。本校は女子寮がないが、地域の方をお願いしてそちらのお宅に入れるようにするなど一人でも二人でも木曾の地に来ていただけるように考えたい。PTAは生徒会と協力して不要物を廃棄することができた。トイレについて厳しい評価をいただいている。来年度2/3程度の改修を予定している。授業を見ていただくのと同時に、生徒と協働したPTA活動をしていただくことも大切であろうと考えている。

## 5 その他

## 6 閉会